

今回の照明改修は、宴会用調光設備の老朽化と保守メンテナンスの困難さを回避し、最高水準の調光演出と洗練された空間演出の創出をサポートすることを目的としました。シャンデリアやダウンライト、フルカラーによる多彩な機能演出を実現する水平照明に至るまですべてLED化。最先端の省エネ技術を駆使し、コンベンションから結婚披露宴、展示会などあらゆる用途にこれらを惹きたてる光の演出を可能にしています。

帝国ホテルは1890年、日比谷の地に海外からの賓客をお迎えする日本の迎賓館として開業。以来、日本を代表する高級ホテルの一つとして発展、大阪、上高地にも直営ホテルを営業しています。1970年、東京に地上17階建ての現在の本館を開業し、1983年には地上31階建ての帝国ホテルタワーが竣工。国際交流やビジネスの舞台としてはもちろんご家族やご友人との集いにも適した宴会場・挙式場やレストラン・バー、プールなど多様な施設が用意されています。



**【物件概要】**  
 名称：帝国ホテル 東京  
 所在地：東京都千代田区内幸町1丁目1番1号  
 構造・規模：本館地上17階（S造・SRC造）、地下3階（RC造）  
 帝国ホテルタワー地上31階（S造・SRC造）、地下4階（RC造）  
 面積：24,379㎡（敷地）19,540㎡（建築）240,250㎡（延床）  
**【改修概要】**  
 対象宴会場：本館2階孔雀の間（東西）面積：1,965㎡  
 改修施工：建築/㈱安藤・間【一期】  
 電気/三機工業㈱【一期】、㈱鍋嶋電機【二期】  
 調光設備/東芝ライテック㈱  
 竣工時期：2016年9月【一期】、2019年3月【二期】



LEDフルカラー水平ライトのシーン例④



LED水平ライト・青

LED水平ライト・緑



LED水平ライト・赤

LED水平ライト・黄



LED化したシャンデリア①

LED化したテラコッタ装飾照明②



調光室に設置した調光卓「LICSTAR-IVTypeJ」⑤

LEDフルカラー間接照明とLED調光設備などで洗練された上質な空間演出を実現した大宴会場。

帝国ホテルの大宴会場「孔雀の間」は、天井中央に5基の壮麗なシャンデリアとその周囲にダウンライト、ブラケットが配置されています。上質な雰囲気づくりときめ細かい調光演出が必須なため、前回の一期工事のダウンライトに合わせ、二期工事のシャンデリア・ブラケット・テラコッタ装飾照明を同じLED調光カーブに統一。照明では困難だった0～100%までチラツキのない滑らかな調光を実現しました。シャンデリア電球は従来のクリア電球に見るフィラメントの点の煌めき、列席されるお客様の顔映りや、運ばれる食事、インテリアセッティ

ングの色艶の見せ方にまで徹底的にこだわり抜き、一段と空間品質の向上を図っています。LED水平ライトは、フルカラーLED4色構成（RGBA）で主室外周とシャンデリア外周に設置。用途に合わせて、多彩な雰囲気に染め上げ、色鮮やかに華やいだ演出効果を創出しています。これらの照明器具の総指揮を執る調光操作卓は、LICSTAR-IV typeJを採用。手動再生及びメモリー再生が可能な汎用卓なので、様々な演目に対応することができます。

LED化した「孔雀の間」シャンデリア・ブラケット・テラコッタ装飾照明はDC駆動LEDランプを、その周囲には調光用LEDダウンライトを、水平ライトはフルカラーLED照明器具を配置①～④



(左) LEDダウンライト③  
 (右) LED化したブラケット④

フルカラーLED照明器具

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名（品名）	形名	台数	備考
主室・前室	シャンデリア/DC駆動LEDランプ	① LDADC5LHE17C/D	1440	消費電力：4.7W
	ブラケット・テラコッタ装飾照明/DC駆動LEDランプ	② LDADC7LH-E17/D	361	消費電力：6.5W
	LEDダウンライト	③ LEDD-21027LL-LD9K	452	消費電力：21.5W
	フルカラーLED照明器具	④ (各種)	156	—
調光室	調光操作卓	⑤ LICSTAR-IVTypeJ	2	—